



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年9月2日

NO. 23

校長 白水 聡

始業式はリモートで

9月1日は、酷暑の中でしたので熱中症対策として、始業式は校長室からのリモート配信で行いました。校長講話では、「自分の力を伸ばす2学期にしてほしい。テストの点数などの目に見える力も大事だけれど、目に見えない力もある。やさしさやねばり強さ、やる気なども大事にしてほしい。」という話をしました。また、志村けんさんが残した言葉である「**待っていても何も始まらない**」を紹介して、学校内外でいろんなことに自分からチャレンジしてほしいと伝えました。2学期には、6年生は修学旅行、5年生は宿泊学習、4年生は小音会といった大きな行事が控えていますので、その活動をとおしてさまざまな力を伸ばすよう指導してまいります。1年生～3年生も、地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ、見学や交流活動が予定されていますので、あいさつやマナー、コミュニケーション力などの育成にもつなげたいと考えます。

今後とも、矢上小の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

児童代表の言葉は、4年生の[]さんが述べました。

2学期に頑張りたいこととして、社会科や漢字の学習、小音会や授業中の発表、時間走大会や課外クラブなど、自分の目標を三人ともしっかりと話しました。今の気持ちを大切にしながら過ごしてほしいです。応援しています！

また、9月から始まる教育実習生の本〇〇樹さんにも自己紹介をしてもらいました。本校の卒業生とのことです。きっと校舎も懐かしい場所が多いことでしょう。1か月間、3年2組で実習を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

教育環境の改善に向けて

右の写真は、B棟のトイレです。長年の要望が実り、ドアが新しくなりました。ご存知の方も多いと思いますが、これまでは木製のもので、ずいぶん損傷が激しかったです。壁のはがれや便器の洋式化といった課題もまだ残っていますが、少しずつ改善していくよう働きかけてまいります。

このほかにも夏休み中に、窓ガラスにひび割れが見られたところも、数か所修繕してもらいました。



8月24日は、例年のPTA活動である「環境美化作業」が行われました。朝8時の時点でも、体育館は蒸し暑くて、まさに酷暑という感じでした。

廊下のワックス掛けや窓ふき、トイレ掃除などを児童・保護者・先生方が汗だくで行っていただき、感謝するばかりです。

「古くてもきれいな学校」をめざして、これからもできるところから、教育環境整備に努めてまいります。

おやじの会の皆さまには冷たくておいしいものを準備いただき、誠にありがとうございました！